

自治体の課題、現状

生徒数や教員数の減少により、部活動の種類が減少している一方で、生徒のニーズは多様化しており、希望する文化芸術活動に取り組むことができない生徒が増加している。加えて、地域においても、文化団体の活動縮小や停滞が進んでいることから、まずは中学生の活動の場を確保を進め、将来的には子どもから大人まで、生涯にわたって文化芸術に親しむことができる環境の構築を図り、地域全体で本市の文化芸術を支える「地域とともにある文化の振興」を目指す必要がある。そこで、登別市においては、これまで本市の文化・スポーツの振興に取り組んできた「一般座財団法人登別市文化・スポーツ振興財団」が新たな地域クラブ「登別市地域クラブ」を立ち上げ、中学生にとって望ましい文化芸術環境を整え、市教育委員会や他のスポーツ関係団体がその取組を支援していくこととした。

地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	5校	全生徒数	1079人
域内の部活動数	9部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	3人	全体の運営スタッフ数	1人
主な運営団体	その他非営利法人		
主な種目	合唱		
平均的な活動回数	2回/週	年間平均参加生徒実数	3年：1人/クラブ 2年：0人/クラブ 1年：3人/クラブ
参加会費	12,000円/年	主な活動場所	市民会館

地域移行関連の取組、成果

・総括コーディネーターの配置

地域クラブ活動の推進にあたっては、これまでの学校部活動の良い所を引き継いだ上で、進めていく必要があり、学校に精通している元中学校校長が総括コーディネーターをして学校との橋渡し役となったことが、円滑なクラブ運営につながった。

・学校間を巡回するバスの運行

登別市においては、平日活動と休日活動の連携などから、休日の活動だけではなく、平日の活動についても可能な限り地域クラブ活動として実施していくことが望ましいと考えており、平日活動の課題となる移動手段の確保に向けて、バスを運行することで、その必要性や事業内容、経費等を検証することができた。

運営体制図

